

茅ヶ崎セントラルクリニック

神代 慶子 (薬剤師主任 / 薬剤科)

功 績 今年度のセントラルクリニックの目標の一つである、「実用性のあるBCPの策定」を自分事として捉え、自らBCPの原案を作成、チームを主導し、ひな形に頼ることなく一からBCPの策定に寄与した功績

推 薦 者 若林陽盛 (事務長)

推 薦 理 由 組織の目標をしっかりと捉え、誰かに頼る前に自分の手を動かし、チームを率いる様は理事長賞に相応しいと考え推薦いたします。

内 容

神代は入職22年のベテラン薬剤師です。神代は今年度より幹部ミーティングにも参加し、薬剤費コスト削減の中心として、各メーカーとの繋がりをつくり、毎年の薬品値上げにも耐えうる交渉をしてくれています。

今年度は新たに「実用性のあるBCPの策定」を施設目標として掲げていますが、神代は自ら率先してBCPの策定に手上げし、神奈川県西部の透析クリニックの情報を収集、有事の際の他施設連携を視野にいれ、自分たちの施設だけではなく、周辺の透析施設をも加えた形でのBCP策定を目指し、チームを作り活動してくれました。

結果として多くのシチュエーションに耐えうるBCPが策定され、9月にはLINEWORKSを利用したBCPシミュレーションを実施、全職員に防災への意識向上、およびBCPの理解促進がなされました。

今後、停電試験の際の電源確認や暗闇の中における導線の確保等、いくつかのシミュレーション事項を踏まえ、今年度末にはより確度の高いBCPが完成する見込みです。神代が実行してきたBCPに対する取り組みが、セントラルクリニックの事業継続安全性を高めてくれました。この半年間の神代の取り組みは、理事長賞に相応しいと考えます。